

滑川町コミュニティセンター施設整備基本設計に係るパブリックコメント

[意見募集期間：令和7年2月13日（木）～令和7年3月14日（金）]

意見提出件数：17件

※1 提出されたご意見は原文のまま掲載しております。ただし、イラスト等は割愛しております。

※2 滑川町コミュニティセンター整備事業に関するご意見に対する考え方を掲載しております。

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
1	<p>メインホールについて、規模は小さくても構いませんので、観客席が段になっているすり鉢状のホールにしたいです。理由は、成人式が行われる際に、現状では小ぢんまりとしており、非常に残念に感じられるためです。また、町内の学校の演奏会や発表会なども、観客に囲まれた一体感のある状況であれば、活動のモチベーション向上にも繋がると考えられます。予算などの課題もあるかと存じますが、現状、他の市町村にあるような本格的な文化ホールが滑川町にはないため、町の文化の中心となるような場所を目指し、ぜひともご検討いただけますと幸いです。</p>	<p>・（設計書 P3）メインホールとなる大ホールは、式典や講演会が行われる場であるとともに、普段はダンスや健康体操等の活動が行われる場としての利用も想定しています。町の財政状況から、多目的に利用できる大ホールを整備する方針です。したがって、観客席は固定式ではなく、移動・収納可能なスタッキングチェアを採用する計画としております。ご意見を踏まえ、観覧がしやすい会場設営に努めてまいります。</p>
2	<p>図面を見ると講演形で、公演形（50人～100人）ではない。 控室はホールの出演者が着控え、出演待ち等で客人の目通らずに済む用 ホール裏に会議兼用控室がほしい。近くにトイレも 調理室：ガス使用形の用 現在の住居はオール電化形IHもあると便利でしょう。参考になる。 上手、下手が即座に移動が出来ること スポットライト・舞台照明は固定式で</p>	<p>・（設計書 P3）大ホールには控室とトイレを備え、講師等が観客との接点を最小限にするよう配慮しております。 ・（設計書 P3）大ホールのステージでの上手と下手間の移動については、ステージ裏の備蓄倉庫とバックヤードを通過していただくことを想定しております。 ・大ホールのステージ上での照明は、現在の施設と同様に固定式を計画しております。</p>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(本設計書 P13) 調理室の給湯器、調理台の燃料は自然災害に強いとされているプロパンガスを採用しています。</li> </ul>
3	<p>2年ほど前、コミュニティセンターを子どもたちのサークル活動で使用しましたが、子どもの声が迷惑だと職員の方から指摘を受けました。その際に知り合いの団体も別の部屋を利用していました。気がならなかったと伝えられました。利用するたびに職員の方からの指摘が多かったので、子ども嫌いなのかと感じ、子ども連れでは利用しづらくなりました。その後職員の方が変わって、ぜひまた利用してほしいとお願いいただき再利用することになりましたが、当時はなんのための【コミュニティセンター】なのかと疑問が湧きました。小さい子供からお年寄りの方まで気兼ねなく利用しやすいようにしてほしいと思います。</p> <p>また、予約について直接だと問い合わせがしやすいのでオンライン上で空き状況がわかるような(東松山のような)システムがあると利用しやすいです。</p> <p>また別件で、飲食ができるスペースがあればよいと思います。例えば、交流会や謝恩会など幼稚園や保育園、PTAなどで利用したい場合に現在のコミュニティセンターは飲食が不可なのでこの地域では地域のふれあいとして集まるのが難しいです。東松山市や比企郡の町では飲食可のスペースもあるため、アルコールは不可でも良いので交流のための場所として制限などを設けても良いとは思いますがぜひそういった使い方も検討してほしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P3) 新施設では、小さい子どもからお年寄りまで多くの方に気軽にご利用いただくため、交流スペースやユーススペースを設置しております。ユーススペースとは、中学生や高校生、大学生などの若者が気軽に利用できるというコンセプトで、事前予約不要で無料で利用できるスペースです。ユーススペースにはカウンターやテーブルを配置し、勉強や交流など多目的な利用を可能としています。なお、若者以外の方でも広くご利用いただけます。</li> <li>・いただいたご意見を踏まえ、運営計画の中で、利用しやすい予約システム、飲食のルールを検討してまいります。</li> </ul>
4	<p>巨費を投じて、新しいコミュニティセンターを建設することには、反対します。</p> <p>イニシャルコストやランニングコストが、町民の将来の過度な負担になることを懸念しています。</p> <p>現状のコミュニティセンターの改修など、より負担の少ないプランを検討すべきではないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和54年に開館以来、地域コミュニティ活動の拠点として、また、生涯学習の礎をつくった施設として利用されてきましたが、老朽化の進行により、利用に支障をきたす故障が出てきています。利用者が多様化する中、バリアフリーや多目</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
		<p>的利用の観点から、コミュニティセンター（中央公民館）を建て直します。建設に当たっては、施設のメンテナンス性も考慮し、維持コストの縮減を図れるよう検討してまいります。</p>
5	<p>本計画には、防災計画の観点からの不備と施設のコンセプトの不明確さという 2 つの重大な問題がある。以下の点について、説明責任を果たし、設計の見直しを行うことを求める。</p> <p>【1. 防災計画の観点からの問題点】</p> <p>本施設は防災拠点・避難所としての機能を担うべきだが、現在の計画には以下の欠陥がある。</p> <p>1.キュービクル（高圧受電設備）の設置場所が不適切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ハザードマップで浸水の可能性がある川沿いに設置される計画になっている。</li> <li>- 浸水すれば停電し、避難所や防災拠点として機能不全に陥る。</li> <li>- 東松山の水害では、キュービクルの浸水によりピオニウォークが長期間使用不能になった事例がある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ キュービクルの設置場所を見直し、安全な高台や建物の屋上などに変更すべき。</li> <li>→ 水密型の防水仕様や排水対策を強化すべき。</li> </ul> <p>2. 杭打ち（基礎工事）の必要性が不明確</p> <p>本計画では、軟弱地盤であることが明言されているにもかかわらず、杭打ちの必要性についての説明がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ラップル基礎だけでは不同沈下のリスクが高く、建物の安全性に影響を及ぼす可能性がある。</li> <li>- 杭打ちが必要になった場合、追加コストが発生し、予算計画が崩れる可能性もある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 地盤調査の詳細結果を公開し、杭打ちの必要性を明確にすること。</li> <li>→ 必要な場合は追加コストを考慮し、予算の再検討を行うべき。</li> </ul>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P15）コミュニティセンター（中央公民館）の建設候補地である総合体育館北側砂利敷駐車場は周囲より高く、浸水想定区域からは外れております。したがって、電気設備は地上計画場所での設置としております。</li> </ul> <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P6）地質調査の結果、現地盤より深度 5m 付近に支持地盤として適切な層があるため、その層までの地盤改良工事を行う計画です。深度 5m のうち、2m 程度が建物基礎部分となり、支持地盤までの残り 3m を地盤改良工事として、セメント系固化剤を混ぜ込むことにより地盤を強化します。以上の地盤改良工事費用については、「滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画（令和 6 年 3 月）」の概算事業費に含まれているため、新たな事業費の追加は不要です。設計書の基礎工事の部分の記載については、わかりやすいように説明を追加いたします。</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>3. 備蓄倉庫の規模と備蓄計画の妥当性</p> <p>本計画では 150 人分の備蓄倉庫が設計されているが、その根拠が不明確。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 町の避難計画で、この施設に何人が避難するのか明確でない。</li> <li>- 150 人分の備蓄量（特に水・食料・簡易トイレ）は適切か？</li> <li>- 備蓄品の回転（消費期限の管理）や補充計画はどうなっているのか？</li> </ul> <p>→ 避難所機能として備蓄計画の根拠を明確にし、適切な量を確保すべき。</p> <p>→ 倉庫のサイズが不足する場合は、設計の見直しが必要。</p> <p>【2. 施設のコンセプトに関する問題】</p> <p>施設の目的や活用方法が不明確であり、町民のニーズと一致していない可能性がある。</p> <p>4.コンセプトが明確でない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コンセプトが不明確なまま進めると、長期的に使われない施設になるリスクがある。</li> </ul> <p>→ 施設のビジョンやコンセプトを整理し、住民に説明すべき。</p> <p>→コンセプトに基づいた適切な機能配置になっているか見直すべき。</p> <p>5. 町民の声が十分に反映されていない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 基本計画策定時に住民参加があったのか不明。</li> <li>- 防音室などを希望して議員に話をしたという住民がいたが、その話はまるでなかったかのように住民要望が反映されていない可能性がある。</li> </ul> <p>→設計の前段階で住民の意見をもっと反映するプロセスを確保すべき。</p> <p>6.こども基本法第 11 条に明確に違反している可能性</p> <p>こども基本法第 11 条では、「国及び地方公共団体は、こどもに関する施策を講ずるに当たっては、</p>	<p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P10、13）「18.災害対策（1）災害対応計画」の中で新施設を避難所として利用する場合には、大ホールと交流ホールを解放し、受け入れる計画としております。大ホール 312 m<sup>2</sup>と交流ホール 193 m<sup>2</sup>の避難スペースに対し、一人当たりの居住スペースが 3.5 m<sup>2</sup>必要であるので、収容人数はおよそ 150 名と算出しております。新施設においては、滑川町地域防災計画の中で位置づけ、災害備蓄品の品目、数量についても併せて検討してまいります。なお、収容人数の算出根拠については、設計書に追記いたします。</li> </ul> <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画（令和 6 年 3 月）」にて記載したとおり、新施設のコンセプトは、現施設がもつ「コミュニティセンター」「中央公民館」「防災拠点」の役割を継承した、地域活動や生涯学習の拠点となる施設です。将来人口の推移を踏まえ、現在のコミュニティセンターの規模を基準として、現在の利用状況や課題から必要な部屋を設定しました。多目的に利用できる部屋を多く配置し、文化活動や会議など様々なニーズへの対応が可能です。建物全体</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>こどもが意見を表明し、その意見がその者に影響を与える事項に考慮される機会が確保されるよう必要な措置を講ずるものとする。」と規定されており、こどもの意見を聞くことは「努力義務」ではなく、法律上の要請である。しかし、本計画では設計過程においてこどもたちの参画が一切行われた形跡がない。</p> <p>-こどもたちにヒアリングやアンケートを実施したのか？</p> <p>-「ユーススペース」という名称が決まった経緯や、どんな機能を持たせるかの議論にこどもが関与したのか？</p> <p>→これらのプロセスがなされていないならば、本計画はこども基本法に違反しているので、計画自体の見直しが必要である。</p> <p>7.ユーススペースは「こどもの参画」なしに機能しない</p> <p>すでに多くの事例から明らかになっていることだが、ユーススペースやユースセンターは「計画の段階からこども自身が関与すること」によって、初めて「自分たちの居場所」として認識され、積極的な利用につながる。</p> <p>-参画の機会を奪われたユーススペースは、「大人が作った意味不明な施設」となり、結果として利用率が低迷する事例が多い。</p> <p>-国内外のユースセンターの成功例では、「設計から運営までこどもの意見を反映すること」が共通の要因となっている。</p> <p>→これはすでに常識レベルの知見であり、こども基本法が制定された時点で、行政が知っていて当然の知識である。</p> <p>→ にもかかわらず、本計画ではこどもの意見どころか、大人の参画すら事前の計画段階に入れず、行政だけで決めている。このような設計プロセスは極めてお粗末であり、結果として「誰のための施設なのか分からない」無意味なものになりかねない。</p> <p>→ 現状の計画では、ユーススペースの理念を根本的に欠いたものとなっており、早急な見直しが必要</p>	<p>が展示場というコンセプトのもと、交流ホールや廊下の壁面に絵画等が展示できるピクチャーレールを随所に設置しております。また、交流ホールや若者が利用しやすいユーススペース、自動販売機コーナーを設けることにより、多くの町民が気軽にご利用いただけるような計画としております。</p> <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画の策定に際しては、パブリックコメントを令和6年3月8日から3月22日まで実施し、17件の意見がありました。各意見に対する回答は令和6年5月1日付で町ホームページにて公表しております。いただいたご意見については、公募委員を含む滑川町コミュニティセンター建設委員会での審議を経て今回の基本設計に反映しています。具体的には、災害用備蓄品の保管、防音機能のある部屋設置、災害用自動販売機の設置が挙げられます。また、事業の進捗については、町議会へ随時報告を行っております。</li> </ul> <p>6について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計案の作成においては、令和6年度に実</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>必要である。</p>	<p>施した総合振興計画に係る青少年アンケート結果やワークショップでの中学生の意見、子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果等を参考にしております。こうした情報を基に、公募委員を含む滑川町コミュニティセンター建設委員会にて審議を重ねた上で基本設計案を作成しております。</p> <p>7について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P3) 新施設では、小さい子どもからお年寄りまで多くの方に気軽にご利用いただくため、交流スペースやユーススペースを設置しております。ユーススペースとは、中学生や高校生、大学生などの若者が気軽に利用できるというコンセプトで、事前予約不要で無料で利用できるスペースです。ユーススペースにはカウンターやテーブルを配置し、勉強や交流など多目的な利用を可能としています。なお、若者以外の方でも広くご利用いただけます。</li> </ul>
6	<p>①トレーニング機器を常設したトレーニングルームを設置する。</p> <p>滑川町は滑川町健康づくり行動宣言の中でみんなが健康で長寿の町を合言葉に運動に親しみ健康づくり行動にまい進するとしている。これらを踏まえ健康を促進する一環としてトレーニングができる場所・施設(設備)があるとよい。町民が気軽にいつでも利用できるようにコミセンに常設としたい。またこのような場所がコミュニティの場ともなる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P3) 新施設では、トレーニング機器の設置は予定しておりませんが、健康増進を目的としたエクササイズやヨガなどの軽運動ができるような多目的コミュニティ室を設ける計画です。また、いただいた意見を踏まえ、今後の健康づく</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>新しいコミセンに導入ができない場合であっても今後の施策として検討を進めてほしい。</p> <p>②調理室の広さとして現在の広さを確保する。  現在（R7年2月）の調理室のひろさは58平方メートルと聞いている。計画では、42平方メートル（7.250m×5.775m）しかなく、同じ規模の調理台等の機材が入らないのではないかと。少なくとも現在と同じ規模の調理台等を設置できるような広さにしてほしい。</p> <p>③健康管理機器の設置  健康管理の一環として町民が気軽に自らの健康状態を把握・管理できるように体脂肪率、骨密度、血圧など健康管理機器を常設してほしい。いろいろなコミセン利用者が気軽に立ち寄れるような形態が良いのではないかと。滑川町保健センターの場合は保健にかかわる人に利用が限定されがちなのでより多くの町民が集まるコミセンへの設置がより良いと思う。</p>	<p>り事業を進めるうえでの参考とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書P3）ご指摘の通り、調理室の面積は、現在の施設に比べて一回り小さくなりますが、壁面に調理台を配置することにより部屋の中央部が自由に使えるレイアウトにしております。中央部は調理スペースや配膳スペースなど、柔軟にご利用いただくことで利便性は向上するものと考えます。</li> <li>・いただいた意見を基に、滑川町保健センターと連携し、町民の健康増進に寄与できるような施策を検討してまいります。</li> </ul>
7	<p>コミセンはサークル活動や展示などよく利用させて頂いています。</p> <p>現在、開館から半世紀近くになり、当時から町の人口も倍増し、施設利用者もかなり多くなっています。そのため施設の老朽化と、サークル活動や会議などの部屋が足りず、その確保に苦労しています。</p> <p>建設にあたっては、人口が倍増し、現状に見合う形の、余裕のある施設になるようにして欲しいです。</p> <p>多くの人達や団体が使用できる施設、スペースを確保して頂きたい。会議室などを増やし、写真や絵画などが余裕をもって展示できるロビーなどのスペース、談話室、また多くの町民が集まれる大ホールなどを設け、水分補給の自販機も設置して欲しいです。社会教育施設として、町民会館に代わり多くの町民が集う町のシンボルとして整備して頂くよう希望します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画（令和6年3月）」にて記載したとおり、新施設のコンセプトは、現施設がもつ「コミュニティセンター」「中央公民館」「防災拠点」の役割を継承した、地域活動や生涯学習の拠点となる施設です。将来人口の推移を踏まえ、現在のコミセンの規模を基準として、現在の利用状況や課題から必要な部屋を設定しました。多目的に利用できる部屋を多く配置し、文化活動や会議など様々なニーズへの対応が可能です。建物全体が展示場というコンセプトのもと、交流ホールや廊下の壁面に絵画等が展示できるピックアップレールを随所に設</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
		置しております。また、交流ホールや若者が利用しやすいユーススペース、自動販売機コーナーを設けることにより、多くの町民が気軽にご利用いただけるような計画としております。
8	<p>コミュニティセンター基本設計概要（案）についてのパブコメ</p> <p>まず、こちらのパブコメについて、募集期間を 1 か月と長めにとっていただいたことに感謝いたします。</p> <p>そのうえで、以前、コミセンについて募集した意見に対し、大塚町長が議会において「(パブコメは) 恣意的な結果」と切り捨てられたことにショックを受けました。強く抗議します。一生懸命考え、意見を出した町民に対する冒とくであり、唯一町民が直接意見を公の場で届けることができる「パブコメ」の存在の根幹に関わることと思いました。発言を取り下げるとともに、今回のパブコメについては真摯に受け止めていただきたいと強く願っています。疑問に答えることは、計画がブラッシュアップされ、町民全体の利益になりうることに繋がると思います。</p> <p>私は今回のコミセン建設について、以下の疑問を持っています。</p> <p>&lt;基本設計への意見の前に、取り残された疑問点&gt;</p> <p>1  他の老朽化した公共施設のメンテナンス問題</p> <p>大塚町長が就任してから、二つめの大きな施設建設となるコミセン建設。滑川町にあるその他の施設のメンテナンス計画との整合性について、町民に説明する義務があると思います。八潮市の下水管劣化による甚大な被害にもみられるように、滑川町でもあちこちの公共施設の老朽化は年々進んでおり、メンテナンスは必ず行わなくてはならない公共の義務。そもそも予算は大丈夫なのでしょうか？</p>	<p>&lt;基本設計への意見の前に、取り残された疑問点&gt;</p> <p>1  について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本設計案はコミュニティセンター（中央公民館）を建設するための計画です。公共施設全体の在り方については、令和7年度、8年度にて見直しを予定している「滑川町公共施設等総合管理計画」及び「滑川町公共施設個別施設計画」の中で検討してまいります。</li> </ul> <p>2  について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画の策定に際しては、パブリックコメントを令和6年3月8日から3月22日まで実施し、17件の意見がありました。各意見に対する回答は令和6年5月1日付で町ホームページにて公表しております。今後も、公募委員を含む滑川町コミュニティセンター建設委員会にて審議を重ね、計画を進めてまいります。また、案の段階でパブリックコメントを実施し、町民の意見を設計に反映し</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>大金（税金）を使うのですから、直接町民に向き合って納得のいく説明をしてほしいです。</p> <p>2 場所の選定</p> <p>進められているコミセン予定地は川に挟まれた三角地帯。常識的に考えて、災害に対して脆弱地と言わざるをえません。また、人口比において、10年、20年後を見据えたら、森林公園駅の近くに公共施設があったほうが町の発展において優位性があると思います。</p> <p>大きな予算を使い、今後何十年に渡って町民生活に影響を及ぼす公共施設の建設。町民との懇談の機会を設けないのはなぜでしょうか。</p> <p>&lt;基本設計概要についての意見&gt;</p> <p>1 P-3</p> <p>「ユーススペース」とは誰が何をする場所ですか？</p> <p>2 P-6 地盤について</p> <p>敷地周辺は軟弱地盤と読み取れます。また、敷地も地盤改良が必要のようですが、本当にこの土地で大丈夫なのでしょうか？</p> <p>3 P-8 9 音響設備</p> <p>「ビデオプロジェクター、スクリーン等の映像機器は設置しない」とありますが、今時、どの講演会でもスクリーンに映像を投影したり、資料を投影するのは当たり前になっています。現コミセンでは町民による映画の上映会なども企画されてきました。映像機器を設置しない理由を教えてください。</p> <p>4 P-9 18 災害対策（1）災害対応計画</p> <p>「電気や上下水道などのインフラは、24時間以内に復旧することを想定する」とありますが、想定外の災害が起こりうる現実を考えると想定が甘すぎませんか？</p> <p>5 P-12 災害対応（1）災害対応計画</p> <p>「災害時の炊き出し対応は計画しない」</p>	<p>てまいります。</p> <p>&lt;基本設計概要についての意見&gt;</p> <p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P3）新施設では、小さい子どもからお年寄りまで多くの方に気軽にご利用いただくため、交流スペースやユーススペースを設置しております。ユーススペースとは、中学生や高校生、大学生などの若者が気軽に利用できるというコンセプトで、事前予約不要で無料で利用できるスペースです。ユーススペースにはカウンターやテーブルを配置し、勉強や交流など多目的な利用を可能としています。なお、若者以外の方でも広くご利用いただけます。</li> </ul> <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P6）地質調査の結果、現地盤より深度5m付近に支持地盤として適切な層があるため、その層までの地盤改良工事を行う計画です。</li> </ul> <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P9）電化製品は進化が早いため、大ホールに天井付けのプロジェクターの設置せずに持ち運び可能なプロジェクターにて対応する</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>とありますが、それはなぜでしょうか？</p> <p>以上です。</p> <p>ご回答よろしくお願いいたします。</p>	<p>計画です。スクリーンについては、部屋の広さに応じた大きさが必要であるため、固定式と移動式の両方を検討してまいります。したがって、設計書案の9. 音響設備の最後尾の記載は次のとおり修正します。「固定式のビデオプロジェクター等の映像機器は設置しない。スクリーンは固定式と移動式を比較し設置を検討する。」</p> <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P10、13）復旧時間については、大規模地震が起こった際の被害想定と町の過去の被害状況を考慮して設定しております。また、災害時には、施設単独ではなく、周辺公共施設との連携や災害協定に基づく事業者との相互協力体制にて対応してまいります。上水であれば、周辺公共施設（役場庁舎、保健センター）受水槽からの融通や水道タンクからの補給も併用します。電力であれば、埼玉中央農業協同組合と「災害時における燃料の供給に関する協定書」に基づき、軽油等の燃料の補給を受けることも可能となります。また、非常用発電機のほか、太陽光発電も設置し、停電に対して多重的に対応します。</li> </ul> <p>5について</p>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
		<p>・(設計書 P13) 災害時には、避難スペースでの照明や空調・換気の維持を優先し、調理室では給湯のみを利用する計画です。ただし、調理室のガスの安全性が確認できれば、部屋の換気を確保したうえで、炊き出しをすることも可能です。</p>
9	<p>講堂兼エクササイズスペースの図面を拝見して、ひとまずうれしく思いましたのはミラーを装備されている点でした。これはエクササイズ（フラダンス、フラメンコ、エアロビ）で利用するサークルにとっては大変ありがたいことではないかと思いました。次に座席を置いて集会室、イベントでも利用できるように座席を配置されるようですが、このことについてアドバイスさせていただきたいと思います。スペースをより多目的にと開発されたロールバックチェアを採用されるのがよろしいのではないかとご提案申し上げます。しかし、フルオートでは予算に問題があるというのであれば手動式の嵌め込み式の物もあります。是非ご検討ください。3列、4列、6列をうまく組み合わせることもできます。イスの足に金のパイプが固定されている。床面に設置されている「受け」のパイプに嵌め込む。都内の公民館、講堂等で使用されています。</p> <p>【参考】 Rollback Chair Stand (KOTOBUKI SEATING が開発)</p> <p>ご参考までに。</p>	<p>・ロールバックチェアなどの可動客席については、設置が容易であるというメリットがあるものの、導入コストが大きく、利用に依る費用対効果を考慮し、設置を考えておりません。観客席は、移動・収納可能なスタッキングチェアを採用する計画としております。</p>
10	<p>アマチュアのミュージシャンです。都幾川町アスピア、小川町リリック、嵐山町ヌウェックのような多目的なコンサートホールが滑川町にも欲しいです。</p> <p>設計案に賛成です。イベント規模、形態に合わせてステージや座席のレイアウトが変更されると、更に良いでしょう。</p>	<p>・(設計書 P3) メインホールとなる大ホールは、式典や講演会が行われる場であるとともに、普段はダンスや健康体操等の活動が行われる場としての利用も想定しています。したがって、観客席は固定式ではなく、移動・収納可能なスタッキングチェアを採用する計画としております。イベント規模や形態に合わせて自由にレイアウトを変</p>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
		えることが可能です。
11	<p>今回のコミュニティセンターの計画案を拝見しました。</p> <p>ステージのあるホールが併設されるようで嬉しく思います。そこに、練習室のような部屋があるとさらに良いと思います。</p> <p>町にはプロの音楽家や楽器製作者も存在しています。町の音楽家や町民が集って楽しめる場所ができればこんなに幸せなことはありません！</p> <p>また、どんなピアノが用意されるのかも楽しみです。アスピアたまがわさんのように、皆が滑川町のピアノを弾いてみたいと思うような楽器があると良いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P3) 多目的コミュニティ1と2は防音機能を有しており、楽器の演奏やエクササイズ、ヨガなどの軽運動でのご利用が可能です。</li> <li>・新施設でのピアノの設置については現在未定です。</li> </ul>
12	<p>本題に入る前に新福祉センター建設（現在建設中）についてのパブリックコメント（以下パブコメ）について町長が議会にて発言した内容に対し改めて抗議を申し上げます。</p> <p>町長はパブコメに対し「相当恣意的な力が加わる結果」と評しました。何を根拠に恣意的な力が加わる結果と言うのか疑問です。恣意的な力が加わった結果となるのはそのようになる原因があるからではないでしょうか。その原因とは行政側の進め方、あるいは公表した内容に原因があるのではないのでしょうか。</p> <p>更に町長は「パブコメはあくまでも参考意見、建設的な意見を求めるための手段」と加えました。そして「一部議員や支援者がパブコメを利用し反対意見を集中した。議会で議決した以後は単なる妨害行為」とまで発言しました。反対意見＝建設的ではないとはどういうことでしょうか。そして「議会で議決した以後は単なる妨害行為」とまで言う町長の発言は公職の立場にある人の発言として全く相応しくないと考えます。正に民主主義の原則に反する発言に他ならないと思います。民主主義の原則とは「多数決の原理」と「少数意見の尊重」です。多数決だからといって少数意見を切り捨ててよいということにはならないのです。町長に対し議会で発言した内容について撤回と謝罪を求めます。</p> <p>さて現在進めている「滑川町コミュニティセンター」について前回実施したパブコメにも記載しましたが、なぜ住民に対し説明会を実施しないのでしょうか。今回も新福祉センターと同様、住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画の策定に際しては、パブリックコメントを令和6年3月8日から3月22日まで実施し、17件の意見がありました。各意見に対する回答は令和6年5月1日付で町ホームページにて公表しております。今後も、公募委員を含む滑川町コミュニティセンター建設委員会にて審議を重ね、計画を進めてまいります。また、案の段階でパブリックコメントを実施し、住民の意見を設計に反映してまいります。</li> </ul> <p>Q1について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P6) コミュニティセンター（中央公民館）の建設候補地である総合体育館北側砂利敷駐車場は周囲より高く、浸水想定区域からは外れております。また、地質調査の結果、現地盤より</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>説明会を実施していません。一般的に住民説明会とは住民に対し直接説明し理解してもらうためであり、その場で住民意見を直接聞くことができる貴重な手段のほうです。現行の進めでは住民に対し説明責任を果たしたことにはなりません。見解を聞かせてください。</p> <p>公開している基本設計概要（案）に対して</p> <p>（Q1）</p> <p>P-6にある地盤についてです。平屋の建物に対し5mの地盤改良を行うようですが計画地は川に挟まれた場所であり軟弱地盤なのではないでしょうか。滑川町洪水ハザードマップを見ても周辺は50cm前後の浸水が想定される場所です。そのような土地になぜ公共施設を新設するのでしょうか。</p> <p>（Q2）</p> <p>P-8にある音響設備についてです。「ビデオプロジェクター、スクリーン等の映像機器は設置しない」とありますが施設の利用のたびに利用者が持参、設置をするのですか。そうだとしたら新しい施設であるのに非常に利用しにくい施設となりませんか。</p> <p>（Q3）</p> <p>P-9の災害対策についてです。「電気や上下水道などのインフラは24時間以内に復旧することを想定」とあります。見通しが甘すぎませんか。過去の災害や昨年1月に発生した能登半島の災害をみてもインフラの復旧にはかなりの時間を要しています。何を根拠に24時間以内に復旧するのか説明してください。</p> <p>（Q4）</p> <p>P-9の災害対策では災害時の避難所としてその機能を維持するよう計画するとあるのにP-12の災害対応では「災害時の炊き出し対応は計画しない」とあるのはなぜですか。前段にある『避難所としての機能』とは果たしてどういうことなのでしょう。説明してください。</p> <p>最後になりますが、3月10日月曜日放送のニュースを紹介します。奈良県宇陀市の来年春に開設予定の「認定こども園」をめぐる市民が懸念の声をあげています。理由は市のハザードマップに</p>	<p>深度5m付近に支持地盤として適切な層があるため、その層までの地盤改良工事を行う計画です。</p> <p>Q2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（設計書P9）電化製品は進化が早いため、大ホールに天井付けのプロジェクターの設置せずに持ち運び可能なプロジェクターにて対応する計画です。スクリーンについては、部屋の広さに応じた大きさが必要であるため、固定式と移動式の両方を検討してまいります。したがって、設計書案の9、音響設備の最後尾の記載は次のとおり修正します。「固定式のビデオプロジェクター等の映像機器は設置しない。スクリーンは固定式と移動式を比較し設置を検討する。」</li> </ul> <p>Q3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（設計書P10、13）復旧時間については、大規模地震が起こった際の被害想定と町の過去の被害状況を考慮して設定しております。また、災害時には、施設単独ではなく、周辺公共施設との連携や災害協定に基づく事業者との相互協力体制にて対応してまいります。上水であれば、周辺公共施設（役場庁舎、保健センター）受水槽から</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>よるとその建設地が『浸水想定地域』とされているのです。市は「建設予定地は過去に全く越水したという記録はない。浸水想定区域であるがハード対策もしていく」と説明。これに対し専門家(大学教授)は「今まで起きなかったからこの先も起きないということはありません。対策をしたら子ども園は守られると思うが周囲の土地が浸水する可能性は否定できない」</p> <p>どうでしょうか。滑川町の今回のケースと酷似していますね。他に 2020 年に起きた熊本県の球磨川の氾濫により川沿いにあった福祉施設が浸水し亡くなった方も複数出たことは記憶にあると思います。</p> <p>したがって浸水想定地域に建設予定の滑川町コミュニティセンター建設は一旦計画を止めるべきではないでしょうか。更に建築資材や人件費が高騰している現況下において新たな公共施設の建設を止める、見直す自治体も少なくないようです。いくら町長の公約とはいえ限りある財源です。その財源は町民の税金です。新福祉センターも途中で予算が追加されました。今回の建設費用は計画では 9 億 5,000 万円ですがおそらく 10 億円を超えるでしょう。滑川町において大きな予算を投じ新たな施設を 2 つも建設をする、これを急ぐ理由がわかりません。それよりも既存施設を修繕し延命し利用するという選択肢はないのでしょうか。常識ある判断、対応を強く望みます。</p>	<p>の融通や水道タンクからの補給も併用します。電力であれば、埼玉中央農業協同組合と「災害時における燃料の供給に関する協定書」に基づき、軽油等の燃料の補給を受けることも可能となります。また、非常用発電機のほか、太陽光発電も設置し、停電に対して多重的に対応します。</p> <p>Q4について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(設計書 P13) 災害時においては、避難スペースでの照明や空調・換気の維持を優先し、調理室では給湯のみを利用できる計画です。ただし、調理室のガスの安全性が確認できれば、部屋の換気を確保したうえで、炊き出しをすることも可能です。</li> <li>・昭和 54 年に開館以来、地域コミュニティ活動の拠点として、また、生涯学習の礎をつくった施設として利用されてきましたが、老朽化の進行により、利用に支障をきたす故障が出てきています。利用者が多様化する中、バリアフリーや多目的利用の観点から、コミュニティセンター(中央公民館)を建て直します。建設に当たっては、施設のメンテナンス性も考慮し、維持コストの縮減を図れるよう検討してまいります。</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
13	映像設備の設置を強く希望いたします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P9）電化製品は進化が早いため、大ホールに天井付けのプロジェクターの設置せずに持ち運び可能なプロジェクターにて対応する計画です。スクリーンについては、部屋の広さに応じた大きさが必要であるため、固定式と移動式の両方を検討してまいります。したがって、設計書案の9. 音響設備の最後尾の記載は次のとおり修正します。「固定式のビデオプロジェクター等の映像機器は設置しない。スクリーンは固定式と移動式を比較し設置を検討する。」</li> </ul>
14	<p>ユーススペースというのは若者の居場所という意味でよろしいでしょうか？ もしそうだとしたなら、今、中高生や大学生達青年の居場所が無いように感じていたのでとても良いと思います。</p> <p>未就学や小学生までは国や町、企業を含めて本当に手厚くサポートされていると思うのですが、中高生になってから急に手放されてしまう子どもたちはどうなっていくのか心配しています。実際に相談する場所や相手もおらず、自暴自棄になってしまう子を何人も見てきました。大人からの直接的なサポートは年齢的に受け入れなかったとしても、場所だけでも提供されていて、自由に使って良いという認識が広まれば、青年たちは自分たちなりに考えて居場所にしていくように思います。上手く活用されることを心から願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P3）新施設では、小さい子どもからお年寄りまで多くの方に気軽にご利用いただくため、交流スペースやユーススペースを設置しております。ユーススペースとは、中学生や高校生、大学生などの若者が気軽に利用できるというコンセプトで、事前予約不要で無料で利用できるスペースです。ユーススペースにはカウンターやテーブルを配置し、勉強や交流など多目的な利用を可能としています。なお、若者以外の方でも広くご利用いただけます。</li> </ul>
15	滑川町コミュニティセンターの建設されること、またホームページに新しく建設される施設が公開されていることを家族から聞きました。施設の中で特に関心があったのが「ユーススペース」です。近年は、若者の孤立が問題視されています。若者たちにとって、町の中に無料で誰でも自由に集ま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（設計書 P3）新施設では、小さい子どもからお年寄りまで多くの方に気軽にご利用いただくため、交流スペースやユーススペースを設置して</li> </ul>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>り、意見や情報を共有できる場があれば、地域に対する愛着が生まれ、地域活動への積極的な参加にもつながるように思います。</p> <p>また、地域の大人や高齢者など多世代が利用するコミュニティセンター内に、若者が安心して過ごせる場所があることは、世代間交流の促進にも繋がり、滑川町の活性化につながると思いました。新しいコミュニティセンターが建設された際には、ユーススペースの有意義な活用を期待しています。</p>	<p>おります。ユーススペースとは、中学生や高校生、大学生などの若者が気軽に利用できるというコンセプトで、事前予約不要で無料で利用できるスペースです。ユーススペースにはカウンターやテーブルを配置し、勉強や交流など多目的な利用を可能としています。なお、若者以外の方でも広くご利用いただけます。</p>
16	<p>多目的コミュニティ 1 の床を板張りにしてほしい。スポーツなども行うことを想定しているので足に負担がかからないようにするためです。理想的には多目的コミュニティ 2 の床も板張りが良いと思いますが予算的に難しいようであれば、片方だけでも板張りになれば利用者にとってとてもありがたいと思います。</p>	<p>・多目的コミュニティ室では、文化活動に加え、健康増進を目的としたエクササイズやヨガなどの軽運動ができるような仕様にする計画です。いただいたご意見を参考に令和 7 年度の実施設計を進めてまいります。</p>
17	<p>滑川町の地理的中心と人口密度から見た中心が異なるため、コミュニティセンターの設置場所選定が難しかったと思われますが、計画案は地理的中心を取ったということですね。すでにそこには役場や図書館、体育館、エコミュージアムがあり、町行政の中心ですから、そこに集約することに一定の合理性はあります。</p> <p>しかし、この場所は滑川のほとりで、水害の危険があり、そもそも町行政の核をおくべき場所ではないとも言えます。本町は旧福田村と旧宮前村が合併してできた町であり、中心と呼ぶべきエリアがないため、おそらく両村の中間地域を「中心」と見立てたのでしょう。しかしその後、森林公園駅開業後、駅周辺の開発によって、また工業団地の整備もあいまって、町の南部に人口が集中し始め、さらにつきのわ駅も置かれ、いっそう集中が進みました。したがって、町の活性化のためには、南部地域を第二の中心として位置づける必要があるはずですが、これまでの経緯があり、そう簡単に行政の中心を変えることができないことも想像できます。ならば、コミュニティセンターの機能を持つ施設を二か所に設置するのが良いと考えます。すなわち、福田地区に再建する本</p>	<p>・滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画 P21 に記載したとおり、コミュニティセンター（中央公民館）の建設候補地である総合体育館北側砂利敷駐車場は浸水想定区域からは外れております。</p> <p>・候補地については、滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画 P23、25 に記載したとおり、町内全域からアクセスしやすい面、また、公共施設が集中しており他の施設との連携や管理のしやすさの面から、総合体育館北側砂利敷駐車場が望ましいと考えております。</p> <p>・コミュニティセンター（中央公民館）を町内に</p>

No.	提出されたご意見 ※1	ご意見に対する考え方 ※2
	<p>計画に基づくコミュニティセンターと、関越道側道沿いにすでにある老朽化した施設に代わる新たな施設。予算規模が大きくなるでしょうが、大きな施設一つを作ったとしても、利便性に劣るなら、コスバが悪くなり、結局無駄になる。それより、町の現状と今後の予想からして、南部地区の人口にみあった施設をつくることがおそらく先でさえあると思うのです。</p> <p>現コミュニティセンターの老朽化による再建は必要と思いますが、場所と規模と数を再検討し、より利用価値の高い施設をつくるよう、本計画の再検討を求めます。</p>	<p>2か所つくることは、町の財政状況から判断すると、非常に困難であると考えます。</p>